

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『フィロソフィー』に明確な指針として表し、経営理念、運営方針を掲げ実現に向け取り組んでおります。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『コンプライアンス』に明確な指針として表し、法令順守に取り組んでおります。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『公正・健全な取引の実践』に明確な指針として表し、公正な競争の尊重に取り組んでおります。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・年度の事業計画作成(会社・部・課)、社会・環境に影響する事に対し、削減目標・実施する担当部署を決めて展開しております。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『会社資産や情報の保全』に明確な指針として表し、知的財産の保護に取り組んでおります。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『会社資産や情報の保全』に明確な指針として表し、個人情報の保護に取り組んでおります。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・社内従業員、取引先へ会社の取組みに付いて、定期的に情報発信や従業員満足度調査の中で意見を伺い、より良い会社環境整備・社会貢献活動に繋げるべく取り組んでおります。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・親会社、対顧客の事業方針説明に参加し、今後取り組むべき方向性(環境問題・品質・コンプライアンス・安全・人材育成 等)に付いて情報を共に共有し展開しております。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCP策定は(当社緊急事態マニュアル)として策定しており、机上訓練等の中で1回/年見直しをしております。 ・毎年、年2回程自然災害や火災に関する社内訓練を実施しております。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『会社資産や情報の保全』に明確に指針として表し、取り組んでいます。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・当社安全衛生委員会の中で、安全に関する年間のスケジュールを立案し、定期的に工場内のパトロールを実施し、危険と思われる箇所を取上げ未然の事故防止に努めております。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・技能実習生の交替手当・通勤手当の見直しと、均等+均衡待遇に関する説明義務を明確にしております。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働基準法に基づく36協定の組合側との締結や、有給休暇の各個人繰越分を100%取得推進する事により、仕事と家庭の両立を図れるように対応しております。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年間教育訓練計画を全社版、各課版作成し、階層別、職能別に研修を実施しています。 ・個人向けの通信教育も参加出来る様に取り組んでおります。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社食に於いて各メニューのカロリー表示や、一週間の献立表等自己管理出来る様に提供しています。又、健康診断で健康保険指導等も外部に支援を受け、積極的に取り組んでおります。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・当社コンセプトマニュアルの中の『人権尊重と労働環境の整備』に明確に指針として表し、取り組んでおります。 ・社内帳票の翻訳、宗教への配慮として豚肉使用メニューを明示するなど環境整備に取り組んでいます。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・コロナ感染症対策の一環として、出社時の体温計測、手の消毒、食堂の一席空け一方向での食事と、部署ごと時間差で対応。又、会議も3密を避ける為分散しWeb・TV会議を導入し実施しております。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・業務の効率化、精度追及に向けデジタル化やオンライン化果敢にチャレンジしております。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・当社は2017年10月に認定を受けております。			3	4					8	9		12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内から排出する廃棄物は、県から認められた処分業者に、適切な管理に基づく処理を行っております。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月使用量を把握し、電力やガソリン、水等削減計画を立案し取り組んでおります。 ・省エネ設備への更新(生産設備、空調、LED)、節水設備への更新(食堂食洗器)							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを使用し、排出量を把握しています。 ・省エネ設備の導入(生産設備2機更新、照明のLED化、空調更新)や各種取り組みにより温室効果ガス削減に取り組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・自社活動として、当社裏を流れる河川の清掃活動を2回/年実施しております。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・材料の再生利用率向上に向けて毎年目標を決め取り組んでおります。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水資源の保全として、水の使用量把握及び削減、水質検査を実施しております。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・工場から出た洗浄用廃シンナーを業者に依頼し再利用としてシンナー購入とグリーン購入に取り組んでおります。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社食のごはん、麺の量について段階的に選べるようにして、ロスが発生しないよう取り組んでいます。 ・社食の数量については、出勤者を把握し、必要数量のみ注文し、ロスが発生しないよう取り組んでいます。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・社内緑地帯に木や花を植え、社有車は緑地側に前方向へ駐車するよう緑化に配慮しております。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・消費電力の少ない生産設備を前期から2機更新致しました。 また、照明のLED化や空調機についても計画的に更新しており、エネルギー使用率の改善に努めております。 ・太陽光設備も稼働しております。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・製品の緩衝材としてフィルムを使用しているが、顧客に納品した後その緩衝材を再利用することで使用量の削減に繋げております。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社有車の入替えは、環境に配慮したハイブリットカー等を定期的に変更促進しております。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2019年を基点に、2030年にCO2排出量50%削減、2050年にCO2排出量実質0を目標に活動しております。CO2排出量を把握し、省エネ設備導入などの取り組みを実施しています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サ ービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・当社重要保安部品の品質エビデンスをデータとして保管する様に取り組んでおります。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・女性の更衣室を厚生棟2Fから管理棟1Fに移動し、階段の登り降りに依る妊婦への負担を配慮する環境整備を行っております。 ・工場の階段については利用しやすいよう、緩やかな階段に改修しています。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能 な社会・ 地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・近隣道路のごみ拾いを2回/年開催、市のグラウンドに草刈り機、図書館にイスの寄贈等、地域貢献活動も積極的に行っております。また、構内を開放し、九州ティエスさくらまつりを開催し、地域の方々との交流を図っております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・地震、水害を想定した避難訓練を実施し、ハザードマップ等市と確認を取り、万が一の災害に対処できるように行っております。 ・災害時の非常食を購入し、事前防災対策を推進しております。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・毎年実施している訓練の中で、消防署の立会をお願いし、避難訓練の状況確認と、そのあと救助の方法や、心臓マッサージ、AEDの使い方等、社員全員が学べる環境を設けております。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内情報の掲示板や、食堂のインフォメーションボード等でSDGsの啓発活動に取り組んでおります。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学校、高校、技術短期大学等からのインターンシップの受入を積極的に実施しております。				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県や市が主催する企業就職マッチング開催等、積極的に参加しております。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	